

よう」や「夜霧の第2国道」など昭和30年代流行ったが、自分は13年間やってヒットなし、自分は唄の道では駄目だと思ったそうであります。そして作家活動に入り、脚本家になったり歴史小説家になった。映画監督になったりで陽が当たるようになった。しかし私が彼の小説を読んだりしてやっぱり、この前座生活13年の基盤があって人脈をつくりそして人生の生き方を学んだのではないかと思った次第です。彼は終戦時は満州の奉天にいて引き揚げに1年半もかかったと述懐しておりますので裸から頑張ったんだろうと推察するわけです。

さて今日私が人生経験豊かな立派な方の前で何をお話しようかと考えました。3クラブの前に2クラブ合同例会があり、金子左武郎初代会長様のお話、初代幹事鈴木宗資様のお話、南クラブの金子左郎初代会長のシベリアの捕虜のお話、今でも感銘しております。

梨木会長の命令、ロータリーの会長・幹事のご命令は絶大であり、ノーと言う言葉はありません。そこで限られた時間、「ロータリーの今昔」について私なりに気づいたところをお話させて頂き、責めを果たしたいと思っております。

私のロータリー歴は三条クラブ満22年、北クラブ創立会員の1人でありますのですが17年経過しロータリーライフ39年となりました。昭和39年に入会を許されたのは28歳であります。お陰様で39年間健康に恵まれ、無欠席であることが自分自身の慰めではありますが、私の記録よりも立派なのが私より若くなられた方は南クラブの鈴木幸一さん、JCの時代は「幸ちゃん」と呼んでおりましたが、33年無欠席であり、22歳の時に入会ですから私の記録は破られることと思います。

三条クラブの初代幹事の大先輩・鈴木宗資さん（7月1日より名誉会員）45年間無欠席、県内の中で燦然と輝くと思います。野水文治さんの45年の在籍であります。このことも見事と言う他ありません。南クラブの安達裕さん24歳で入会されたのであります。鈴木幸一さんより2歳年上ですが、これも歴史に残ることと思っております。

参考のため北クラブでは若くして入会した人で淵岡茂君で33歳であったと思います。若くして入会して良かったかどうかは本人に聞いてみてください。少なくとも私は人生の後輩として先輩の生き方を勉強するには良い機会を頂いたと思っております。

時代と共にローターアクトは別にして20代でロータリーに入会される方は非常に少なくなったと思っております。又地区に行きますと無欠席記録も私よりも多いのに驚いております。そして自分自身に言い聞かせながら誠実にロータリアンとして過ごしたいものと思っております。

山本福七さんの名作、閑牛メモをもらってのお話の中で女湯からの一言の話からスタンドを作られたお話が載っております。他人の一言によって大きな設備投資をされたとのことでもあります。他人のアドバイスの大きいこと、今自分が悩んでいることに何となくヒントをもらうことがあります。山本先輩の人の話を良く聞く耳をもっておられる心の広い人であったからとも考えられます。多くの友人を持つことは、それだけ心の中の広さと情報量の厚さ・広さがついてまいります。そして独自のアイデアが生まれ、誰もやっていない事業展開となるのではないのでしょうか。創意無限に繋がるものと思っております。

第2560地区の会員の推移について触れておきたいと思います。ピーク時1996年平成8年6月末日現在のクラブ数、勿論群馬県と一緒の時代でありますので新潟県だけの統計ですが、53RC2888名

であります。平成14年7月1日現在56クラブ2331名であります。6年間で3クラブは増えましたが557名の減少であります。第2560地区の平均1クラブ人数は54名強でした。平成14年になりますと1クラブ平均43名弱であります。1クラブ43名として557名の減少でありますので約13クラブがなくなった計算になります。どうしてこんなに減少したのでしょうか。この現象はあらゆる会合に通ずることではありますが、特にゴルフ場の入場者数にも通ずるところがあり、歯止めが効かない状況にあります。参考のために申し上げますと新潟県内のゴルフ場の数は38クラブあると言われております。平成12年度の入場者数は1,178,147人、即ち1,178,000人であります。平成13年度の入場者数は1,134,680人約1,135,000人であります。その差が43,000人の大幅減少であります。ピーク時は120万人余りの入場者数でありますので約7万人の減少となります。18ホールの入場者数は約2万人～3万人が相場です。3ゴルフ場がまったくゼロとなる数字となります。その上料金が20%位ダウンしておりますので経営が苦しくなるのも無理からぬことであります。ゴルフ場の入場者数は更に減少傾向にあり会員券、即ち預託金が紙屑になるゴルフ場が出てくる訳であります。そして今問題になっている銀行の不良債権に結びつく訳であります。

ロータリーも会員の退会現象が続いておりますが、各クラブが必死に増強をやっております。ロータリークラブの格差、会員の退会による減少が数字の上でも明らかであります。

新潟県の人口が245万人とした場合、約千人に一人のロータリアンとなります。三条3クラブは人口1人あたりから見ると約200人でありますので県下ではトップの位置にあります。450人に1人となります。三条1クラブ66名になりダントツであります。

ちなみに新潟市は7クラブで365名1クラブ52名、長岡市は3クラブで156名1クラブ52名、17万人の人口ですから1100名に1人と三条の2分の1ロータリアン数となります。柏崎はどうか3クラブ合計131名で三条からみると70名少ない人数であります。1クラブ44名であります。新発田市の3クラブが普通は2560地区ではトップと言われてきましたが、3クラブで157名と三条からみれば及びません。約40名の差であります。1クラブの違いとなり、それで1クラブ51名でしかありません。

高田・直江津の上越市は4クラブであります。233名であり1クラブ58名と県下で三条について2位であります。第4分区の燕クラブは会員数は今年の7月15日現在で35名、加茂で51名であります。我が北クラブは現在60名ですので数は力なりの論理からすると三条クラブ・三条南クラブ・三条北クラブの力は絶大なものであることが判明致しました。そういった意味ではガバナー始め地区役員が少ないのは三条市の市民性でしょうか。ロータリークラブに関しては私の考えでは県内で数の理論で一番であると思って自身を持って差し支えないと思います。

今日は役目からロータリーについてのお話です。ロータリーは時代と共に変わると言われておりますが、変わったのは職業分類の1業種1人が5人になったこととあります。もう1つはガバナーの公式訪問前のクラブ協議会はAG即ちアシスタントガバナーがやれということです。それから一番大きく変わったのは会員の減少傾向に歯止めがかからないということです。会員増強はしなくとも今年は2名とか3名にしばっても入会者は10年前は必ずあった。今は会員が増えても退会者がそれ以上、減少する状態である。メリット、デメリットで価値判断するためか、ロータリーをわから